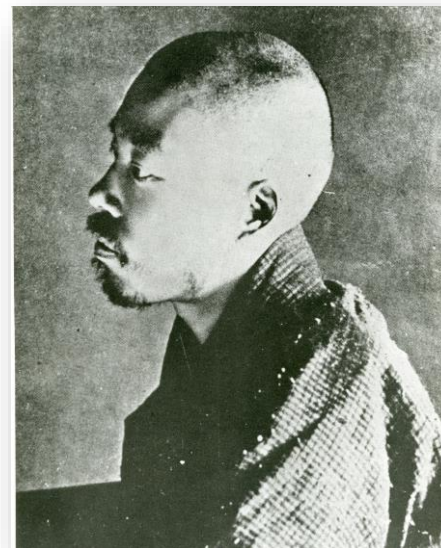


松山市立子規記念博物館 常設展リニューアル オープン

令和6年7月3日



- 正岡子規を通して、松山の歴史や文学に親しみ、理解を深める文学系の博物館。
現在およそ7万点の実物資料や書籍を収蔵。常設展の展示数はリニューアル後も約300点。
- 昭和56年に開館し、平成29年に子規・漱石・極堂生誕150周年を記念し、常設展3階の展示機器等をリニューアル。7年振りに常設展2階をリニューアルし7月3日(水)一般公開。
- 道後温泉本館全館営業再開の時期に合わせ、開館しながら大規模改修
 - ①老朽化した電気や空調の設備更新、②2階の常設展示室のリニューアル

リニューアル④
大型モニター「しっきーとあそぼ」を新設



展示の復習や観光案内のほか、当館キャラクター「しっきー」と一緒に記念撮影が楽しめます。

リニューアル②
タッチパネル式など映像展示に更新【4カ所】



常設展 2階の4カ所を、パネル展示からタッチパネル式等の映像展示に更新。お客様の興味に合わせて、より深く子規のことが学べます。

特集展示
「道後温泉の歴史と文化」

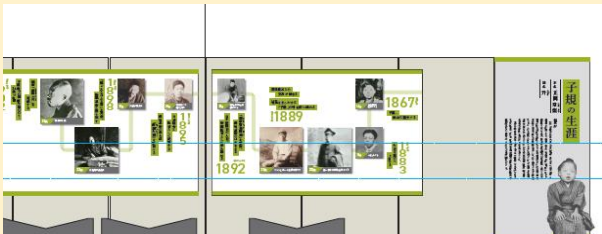
※令和7年3月24日（月）まで

2階

リニューアル⑤
展示コーナー「子規記念博物館の名品」を新設

当館選りすぐりの子規直筆資料などを紹介する展示コーナーを新設します。

リニューアル①
導入展示「子規の人間像」を更新



「子規の生涯」「子規の業績」「子規の家族」「子規と松山」の4つのテーマで、子規の人間像を紹介する展示に更新。

リニューアル③
クイズコーナーを新設【8カ所】

じきはくクイズ

導入展示（子規の生涯・子規の業績・子規の家族）

クイズは全部で5問 出題されます。
 スタートボタンをタッチしてください。

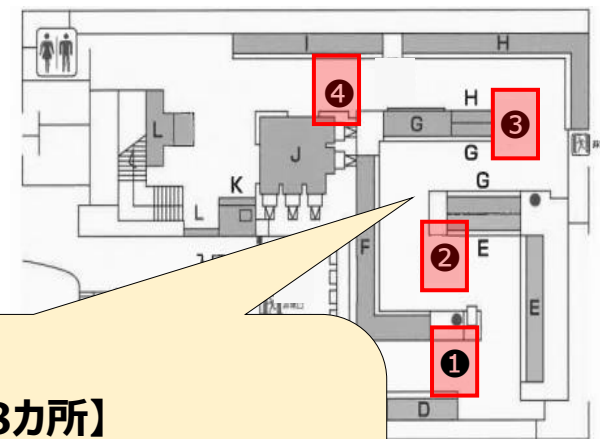
スタート

タッチパネル式のクイズコーナーを、展示室内に8カ所新設。クイズに挑戦しながら楽しく展示を復習できます。



3階

2階



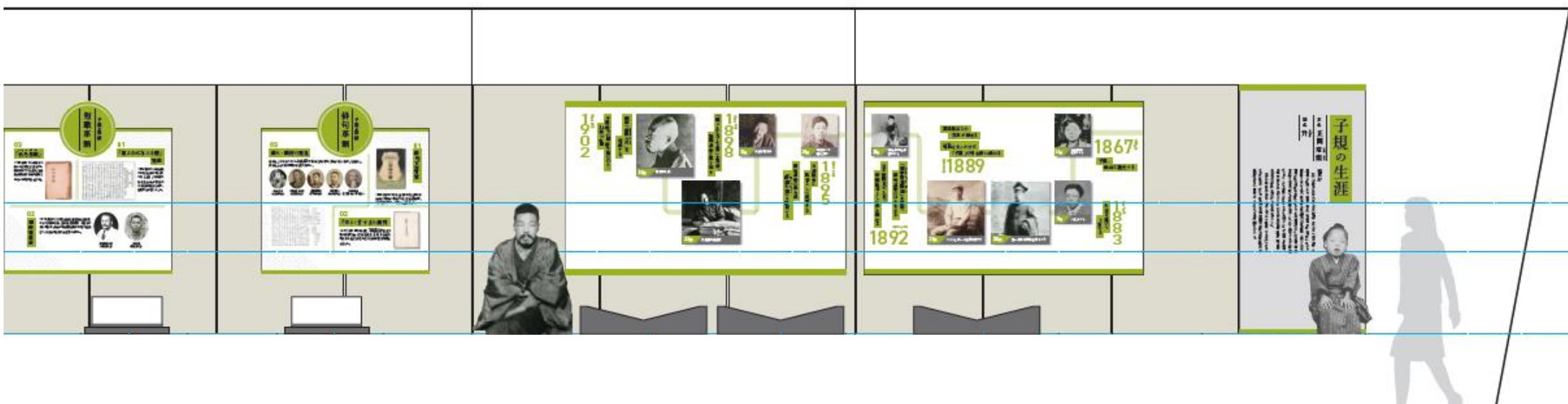
以前の展示



- 古代と中世の松山を紹介する展示から、**初めて来館する方も子規に親しみ、興味を持てるよう、子規に関する導入展示に更新しました。**

＊古代と中世の松山や道後温泉の歴史は、導入展示横の大型パネルに集約し展示。

- 4つのテーマ「子規の生涯」「子規の業績」「子規の家族」「子規と松山」の順で、生まれてから、34歳でこの世を去るまでを年表でたどり、子規の成長の過程や、子規の業績、家族、子規が感じた故郷・松山を紹介し、子規の人間像がわかる展示です。



■テーマ①「子規の生涯」では、

生まれてから34歳でこの世を去るまでの子規の足跡を、当時の顔写真と、主な出来事で構成した年表で紹介。

■テーマ②「子規の業績」では、さらに「俳句革新」、「短歌革新」、「文章革新」、「革新の意欲」の4テーマごとに、子規の各分野の主要な業績を紹介。

実物資料は13点を展示。以下の資料は、常設展初展示。

■『子規遺稿』（「竹乃里歌」「子規小品集」「子規小説集」）【3点】

■アルス版『子規全集』（第1～第5巻）【5点】

■テーマ③「子規の家族」では、

子規の父「正岡 常尚」、母「正岡 八重」、妹「正岡 律」を含む、子規と関わりが多かった人物の顔写真とプロフィールなどを紹介。

■テーマ④「子規と松山」では、

子規と松山の関わりを示す「俳句」や「短歌」、「写真」を紹介。

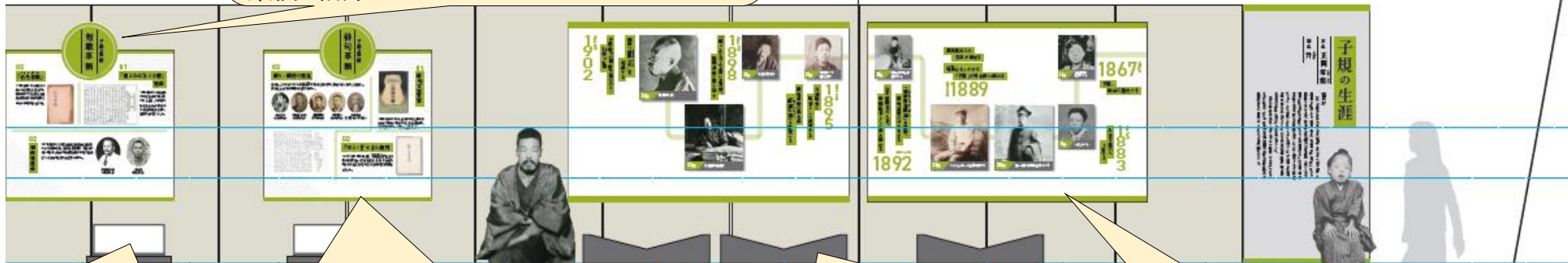
実物資料は5点を展示。以下の資料は、常設展初展示。

■子規五十年祭記念葉書【1点】 ■子規五十年祭記念行事表【1点】

[C]テーマ②-2

「子規の業績（短歌革新）」

歌論「歌よみに与ふる書」発表、根岸短歌会などの業績を紹介。



[C]テーマ②

子規の俳句・短歌など直筆資料の写真を紹介するパネル。

[C]テーマ②-1

「子規の業績（俳句革新）」

俳論「俳諧大要」発表、俳誌『ほととぎす』創刊などの業績を紹介。

[B]テーマ①

子規の随筆や手紙から印象的な「ことば」を紹介する本型パネル。

[A]テーマ①

「子規の生涯」
子規の足跡を年表と顔写真で紹介。

[C]テーマ②-3

「子規の業績（文章革新）」

写生文の提唱、「墨汁一滴」「病牀六尺」の発表などの業績を紹介。

[D]テーマ④

「子規と松山」

子規と松山の関わりを示す俳句や短歌と、写真を紹介。

[D]テーマ④

子規と松山の人びととの関わりを示す資料を展示。

柳原極堂著『友人子規』



[D]テーマ③

「子規の家族」

父、母、妹、祖父など、子規の家族の写真とプロフィールを紹介。

[C]テーマ②-4

「子規の業績（革新の意欲）」

随筆「病牀六尺」から、子規の文学革新への意欲を物語る印象的なことばを紹介。何事によらず「革新」は若者の仕事だと語っています。

[C]テーマ②

子規の俳論書や句集、全集など、子規の業績を示す資料を展示。

子規著『俳諧大要』





- パネル展示から50インチモニターの映像展示に更新。
- 子規誕生前の松山藩の歴史を、2分40秒の動画で分かりやすく紹介します。
- 幕末維新期の動乱と松山藩の行動、若き藩主・松平定昭や子規の祖父・大原観山らの活躍など。
- 子規が生まれる前後の松山の歴史的背景を紹介します。



以前の展示



■パネル展示から**タッチパネル式50インチモニターの映像展示に更新**しました。

■明治16年の少年・子規の上京で、**松山から東京までを子規が実際にたどったルート（3ルート）と、立ち寄った場所（9地点）にタッチすると、利用した船や鉄道、港、駅などの写真と解説が表示**され、当時の上京の様子やエピソードを紹介します。



詳しく知りたい
ルートや地点にタッチ

【子規の上京】
一八八三明治十六年六月十日、子規は立身出世のため、故郷松山を離れ、東京を目指しました。上京までの足跡をたどってみましょう。

画面にタッチしてください

新橋 Shimbashi

明治時代の新橋駅（国立国会図書館蔵）

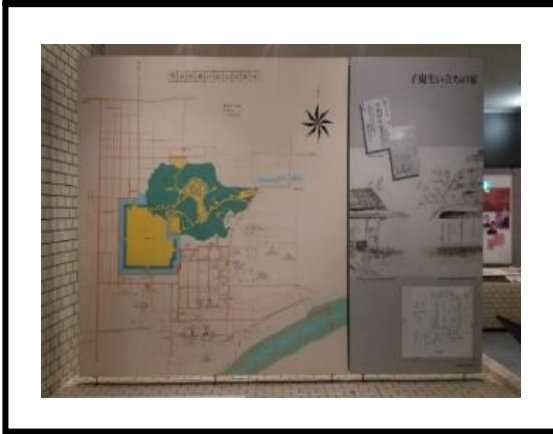
左右対称の洋風建築が印象的な新橋停車場（後の沙留貨物駅）は、横浜停車場とともにアメリカ人建築家 R.P. プリジエンスが設計し、外壁には石材が用いられていました。1883（明治16）年6月14日朝、同停車場に着いた子規は人力車で日本橋浜町の久松邸を目指しました。途中、銀座の裏通りの様子を目にし、「東京はこんなにかきたない所か」との印象を抱いています。その後、子規は親戚宅や学生寮、間借りした下宿先など転居を頻繁に繰り返しました。

海路 神戸～横浜 Kobe~Yokohama

高砂丸（日本郵船歴史博物館蔵）

三津浜出航から1日後の1883（明治16）年6月11日、汽船「豊中丸」は神戸港へ着港しました。子規は神戸の宿に1泊して市内見物をしたのち、6月12日午後汽船「高砂丸」に乗船し、横浜を目指します。明治22年に東海道線が新橋から神戸まで全通すると、横浜・神戸航路は鉄道に客を奪われて低迷し、子規も同年以降はもっぱら陸路を利用するようになりました。

以前の展示



- パネル展示から**タッチパネル式50インチモニターの映像展示に更新**しました。
- 子規が住んでいた明治松山の地図上のポイントにタッチすると、**子規の誕生地や、生い立ちの家など、子規にゆかりのある場所の写真や解説が表示**されます（26か所）。

詳しく知りたい地図上の
場所にタッチ

地図は「明治」と「現代」を
切り替えて比較できます

以前の展示



■ パネル展示から**タッチパネル式50インチモニター**の映像展示に**更新**しました。

■ **約200に及ぶ**とされる子規のペンネームの中から、**64個**を「**五十音順**」「**年代順**」で紹介。

また、お気に入りのペンネームに**投票**でき、その結果は「**総選挙順**」で**ランキング**を紹介。

子規のペンネーム

五十音順

年代順

総選挙順

正岡子規の数多いペンネームを五十音順・年代順でご覧いただけます。
お気に入りのペンネームを見つけたら、タッチして投票してください。

ランキングを見る

五十音順、年代順、総選挙順から表示方法を選択



以前の展示



- **タッチパネル式**のクイズコーナーを**新設**します。
- 常設展示室2階に4か所、3階に4か所、計**8か所**です。
- 1か所あたり5問ずつ、各クイズコーナー付近の展示内容から出題します。クイズに挑戦しながら、**楽しく展示を復習**できます。
- クイズを解くと、**正解と解説**があります。

しきはくクイズ

導入展示（子規の生涯・子規の業績・子規の家族）

クイズは全部で **5問** 出題されます。
スタートボタンをタッチしてください。

スタート

《出題例》

Q. 「子規」というペンネームは、ある鳥の名前を意味します。その鳥は何？

- ①うぐいす
- ②カラス
- ③ほととぎす

A. 正解：③ほととぎす



■ AR機能付 86インチ大型モニターを新設します。

■ 3つのコンテンツ

- ①「子規の前半生」： 2階常設展示内容を、**子規博キャラクター「しっきー」の伊予弁の語り**で振り返る映像（映像5種類、各1分～1分半）
- ②「旅する松山」： 松山の観光案内（20か所）
- ③「#しきはく写真館」：

AR機能で映し出される子規ゆかりの背景（4種類）に入り込み、「しっきー」と一緒に**オリジナル写真**が撮れます。

※②③は二次元コードで情報や画像を持ち帰れます。



「#しきはく写真館」背景の例
(愚陀佛庵で語り合う子規・漱石)

■「子規の前半生」の映像コンテンツ

※各映像 約1分～1分30秒

①「子規の家族と親族」



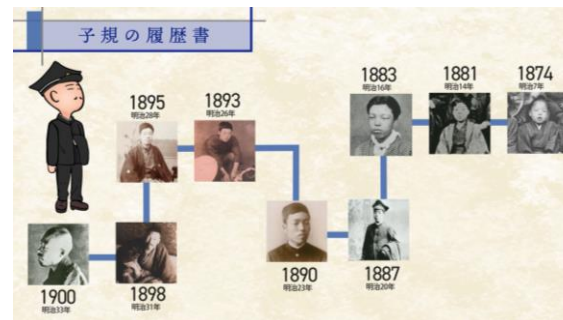
父の常尚や母の八重、妹の律、祖父の大原観山らを紹介。

②「子規の人との出会い」



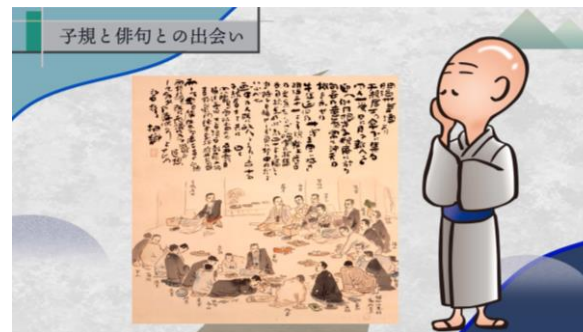
幼なじみや東京の友人、後輩の河東碧梧桐・高浜虚子との出会いなどを紹介。

③「子規の履歴書」



子規が通った学校や仕事のことなどを紹介。

④「子規の俳句との出会い」



俳句を始めたきっかけや最初の俳句の師・大原其戒のことなどを紹介。

⑤「子規と旅」



子規の旅したルートを日本地図上に示しながら紹介。

■「#しきはく写真館」記念撮影の背景

①愚陀佛庵で語り合う子規・漱石



②道後温泉



③松山城



④坊っちゃんスタジアム



- **「子規記念博物館の名品」コーナーを、常設展2階に新設**します。
子規の直筆資料を中心に、子規博えりすぐりの名品を、定期的に展示替えしながら紹介します。

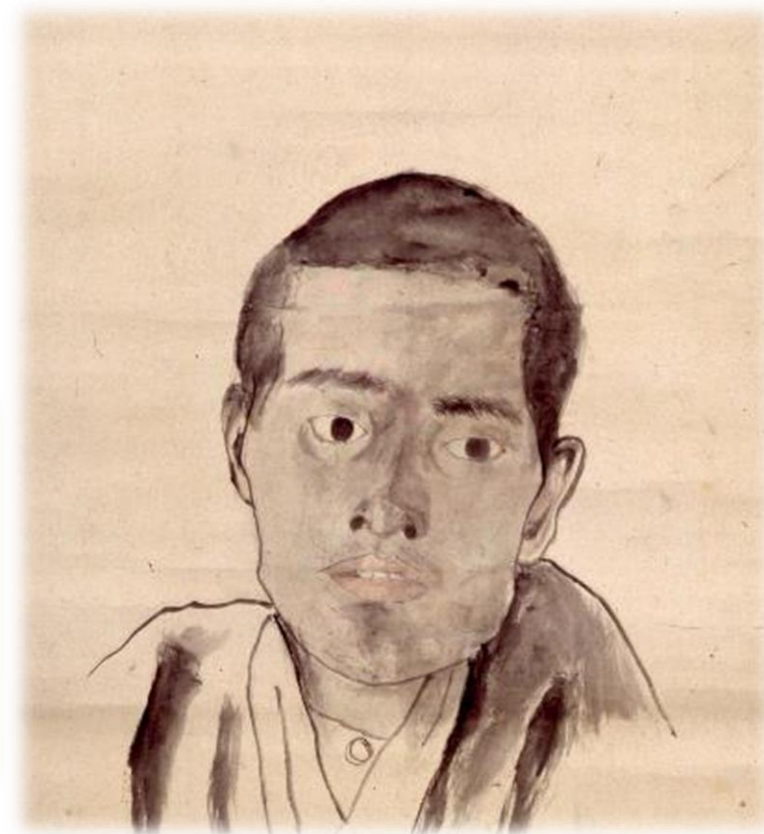
- ・子規画「自画像」(彩色) 1点
- ・子規画「自画像」(墨画) 1点

※展示は令和6年11月4日(月曜日・休日)まで

明治33年頃、子規が病床で鏡を見ながら自分の姿を写生したものです。

同じ構図の自画像は3点現存しており、そのうち貴重な2点を展示します。

※残る1点の自画像(国立国会図書館所蔵)のレプリカも併せて展示します。



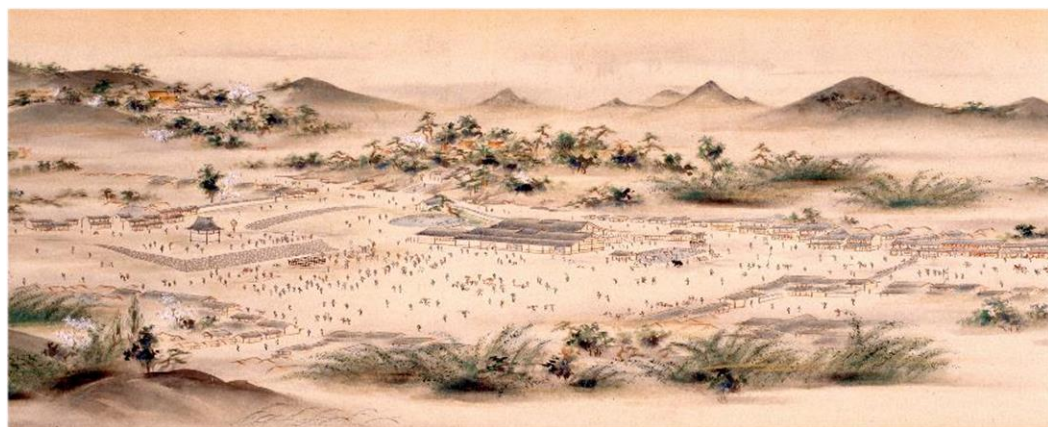
子規画「自画像」(彩色)

■ その他の新設展示

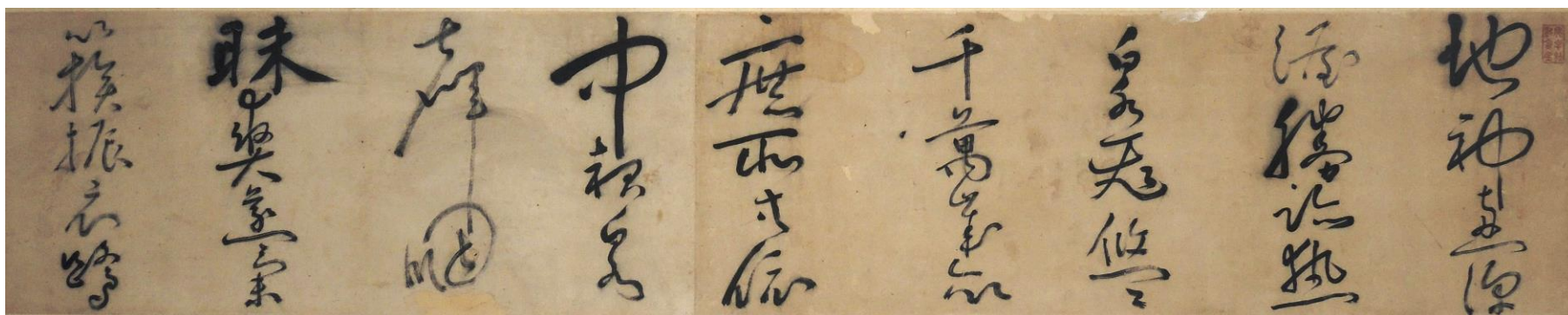
- **道後温泉本館改築130周年**を記念し、常設展3階で、
特集展示「道後温泉の歴史と文化」を公開します。

当館収蔵の中から、道後温泉の歴史を語る上で主要な、道後温泉関連資料
(7点) を展示します。

※展示期間は令和7年3月24日（月曜日）まで。会期中、一部資料の展示替えがあります。



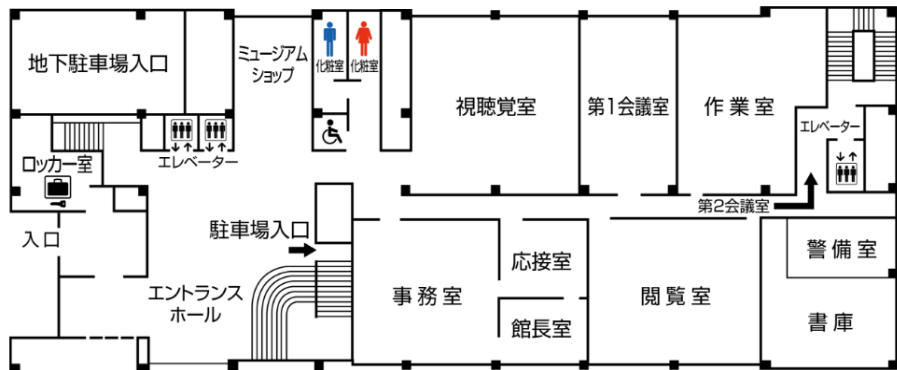
道後温泉絵図
(江戸時代後期／松山市指定文化財)



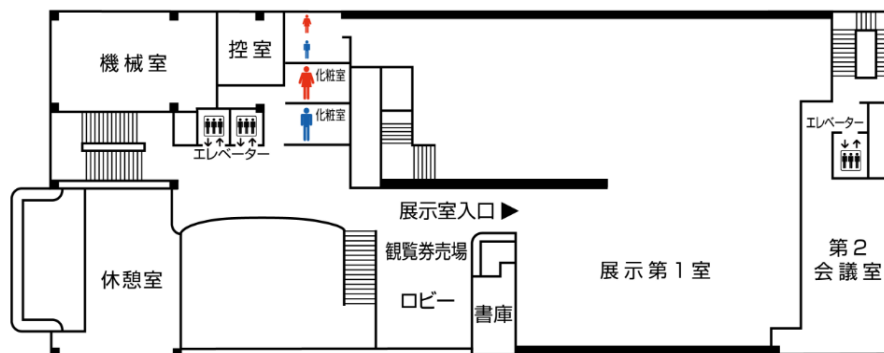
明月漢詩「道後温泉詩」(江戸時代中期／松山市指定文化財)

フロアマップ

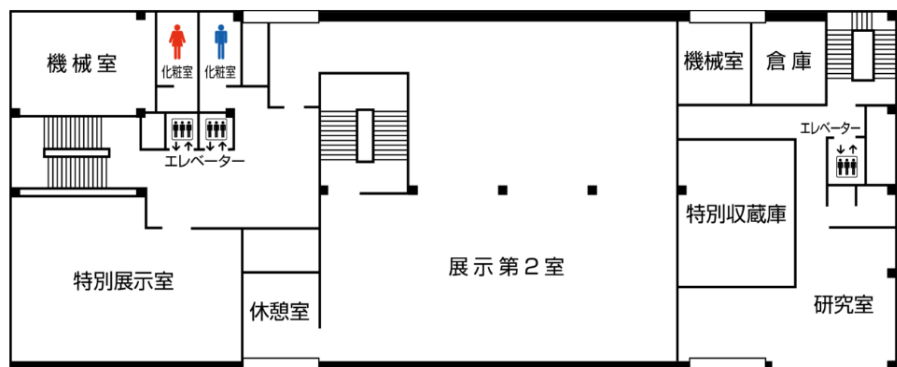
1階



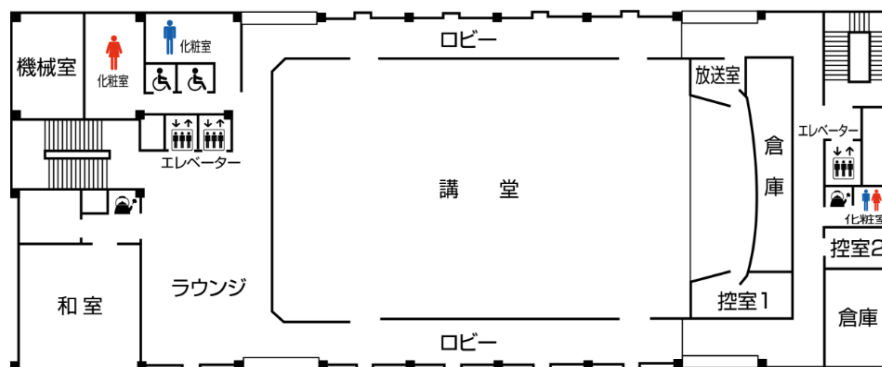
2階



3階



4階



子規博マスコットキャラクター
「しっきー」